「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会開催記念
第35回南日本クロスカントリー大会INきほく」新型コロナウイルス感染防止マニュアル

令和５年１月31日作成

１　大会開催の条件

大会開催の前提条件は以下のとおりとする。

①鹿児島県全域もしくは鹿屋市を対象地域とした緊急事態宣言又はそれに類する宣言が発令されていないこと。ただし、緊急事態宣言又はそれに類する宣言が発令されている場合であっても、宣言の要請内容にイベント開催の自粛が含まれていない場合、実行委員及び関係機関との協議の上、大会の開催について検討する。

②鹿屋市において新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っていること。

③新型コロナウイルス感染症対策を講じた大会開催に当たり、人的、物的及び財政的に運営体制が確保されていること。

２　大会開催にあたっての基本的注意事項（スタッフ・参加者など全ての人が対象）

（１）３密の回避徹底

・密閉空間、密集場所、密接場面を避ける。

（２）参加判断

・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は参加しないこと。

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加しないこと。

・政府から入国後の観察期間を必要とされている国、地域等に一時的に渡航した場合に、帰国後、必要な待機期間を経過していること。

【感染者】

大会３週間前（４月23日）以降に、ＰＣＲ検査もしくは抗原検査で陽性反応があった選手・スタッフをはじめ大会関係者については、陰性結果が出ていること。

【濃厚接触者】

保健所から濃厚接触者と認められた選手・スタッフをはじめ大会関係者は、陽性者との最終接触後、健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていないこと。

【感染疑い者】

令和５年５月７日（日）から令和５年５月14日（日）まで、発熱（37.5度以上）や感染疑い症状が無いこと。

３　主催者としてすべきこと

・選手、監督、役員に対し、体調管理チェック表の記録及び提出を義務付ける。

・体調管理チェック表の提出の無い選手は参加を許可しない。

・当日の来場者には必ず受付を行うように周知を行う。

・参加者より提出を求めた書面は大会後、１か月間保存する。

※個人情報は感染症予防対策目的として取得するものであり、感染者が発生した場合に、保健所、医療機関等の第三者へ情報提供をする。

※保存期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに廃棄を行う。

・風邪の症状など、体調が悪そうに見える人にはその場で検温を実施し、状況により参加を許可しない。
・運動時を除きマスクの着用を義務付け、参加者に対して注意喚起を行う。
・手洗い、手指の消毒、洗顔、うがいの徹底を呼び掛ける。
・新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧など）を持っている者には役員募集の際に辞退するよう促す。
・招集待機時に密集、密接状態にならないよう感覚を広く空けて招集させる。

4　参加者としてすべきこと
・体調管理チェック表を受付時に提出すること。
・各チーム内で３密の回避、体調管理、感染対策を徹底すること。
・選手及び監督に関係する人（応援する人、保護者など）に対して受付をするよう促す。
・運動時以外はマスクを着用する。
・ゴミは各自で持ち帰る。
・密集、密接状況で声を出しての応援を行わない。

5　その他
・日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開のガイダンス（2021年１月15日改定）を参考に大会を運営する。
・主催者は、大会関係者の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負わない。
・新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、本マニュアルの内容を変更する場合がある。